

(様式1) ※A3判(1枚)に収める。実践充実プランの内容と年間推進計画書との整合性に留意して記載すること。

「道徳教育推進拠点校事業」実践充実プラン 四万十市立東中筋中学校		校長	溝 淵 忠	教員数	11	児童生徒数 学級数	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		合 計		
		道徳教育推進教師	三石 裕子	11	児童生徒数		学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数
研究テーマ		よりよく生きる力を育む道徳教育 ～ともに考え議論し合う道徳科を要として～																			
年度当初の学校の状況		到達目標					中間検証(下半期に向けての改善事項)										年度末(到達目標達成状況)				
<p>本校では、道徳の授業において、生徒が自分の考えをもち、他者と意見交流する中で自分の考えを深めたり広げたりするなど、前向きに取り組む姿が見られる。昨年度の道徳意識調査でも、道徳の時間に関する項目は肯定的意見が90%を越えている。</p> <p>その一方、授業者が、話し合いや思考を深める発問や生徒の発言を生かした応答などを効果的に行えないことがある。また、昨年度は道徳意識調査で「自分にはよいところがあると思う」の肯定的意見が73.0%から68.4%に下がっており、自尊感情を育てることが課題である。</p>		<p><b>道徳意識調査の肯定的回答の割合の向上</b></p> <p>①「道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと(生き方)についてよく考えている」 95%以上</p> <p>②「自分には、よいところがあると思う」 80%以上</p> <p><b>道徳授業チェックシート(教師用・最高値4)の平均値の向上</b></p> <p>①「考える必然性や切実感のある発問、物事を多面的・多角的に考えられる発問をしている」 3.2以上</p> <p>②「児童生徒の反応を生かし、問い返すなどして思考を深めるようにしている」 3.2以上</p>																			
到達目標達成のための取組		取組計画 ※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)										指標達成状況の分析									
取組項目	取組の評価指標	5月～8月					中間評価	9月～2月(中間検証を踏まえての追記・変更可)					達成状況	年度末評価							
道徳科の趣旨を踏まえた指導計画の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆道徳教育の重点目標に視点を置いた別葉を作成し(4月)、年2回見直しを行う。</li> <li>◆道徳教育の重点目標に関する取組期間を設定し、教育活動全体で取り組む。(年2回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①道徳教育の重点目標と教科領域とを関連させた別葉の見直しを行う。(8月)</li> <li>②5月を「自主、自律、自由と責任」の内容項目に取り組む期間とし、全学年2週目にこの項目の授業を行う。取組の成果を検証し、2回目の取組につなげる。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>①道徳教育の重点目標と教科領域とを関連させた別葉の見直しを行う。(12月)</li> <li>②9月を「相互理解、寛容」の内容項目に取り組む期間とし、全学年1週目にこの内容項目の授業を行う。取組の成果を検証し、次年度の取組につなげる。</li> </ul>													
道徳科の趣旨を踏まえた「考え、議論する道徳」の授業研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆公開の全校授業研究を実施し授業についての意見をもらう。(年3回)</li> <li>◆道徳授業チェックシート(教師用)の検証を行い(年3回)、「発問」「応答」の項目で平均値3.2以上にする。</li> <li>◆道徳意識調査の検証を行い(年3回)、「自分のこと(生き方)」についてよく考えている」の項目で95%以上にする。</li> <li>◆1人1回以上道徳に関する授業づくり講座や外部の会に参加し、学んだことを報告する(全員)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①公開の全校授業研究を実施し、参観者との意見交流や講話により、授業及び評価に関する研修を行う。(5月、6月、7月)</li> <li>②学年部と推進教師で全時間の事前研究、授業参観、事後研究を行う。全校研に係る事前研究には講師を招聘する。(5月、6月、7月)</li> <li>③道徳授業チェックシートの結果分析を行い、改善策を検討する。(9月 各自、推進委員会)</li> <li>④道徳意識調査の結果分析を行い、改善策を検討する。(9月 推進委員会)</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>①学年部と推進教師で全時間の事前研究、授業参観、事後研究を行う。</li> <li>②道徳授業チェックシートの結果分析を行い、改善策を検討する。(12月 各自、推進委員会)</li> <li>③道徳意識調査の結果分析を行い、改善策を検討する。(12月 推進委員会)</li> <li>④研究発表会(11月 全学年授業公開)を開催し、参加者アンケートを実施する。結果分析を行い、取組を検証する。</li> <li>⑤全教員が東中筋小学校「授業づくり講座(教材研究会・授業研究会)」に参加し、今後の授業に取り入れることを整理する。(9月、10月)</li> </ul>													
道徳科の趣旨を踏まえた評価の研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆毎時間の事後研において、生徒の個人評価を記録する。(学年部)</li> <li>◆「学習状況」「道徳性に係る成長の様子」の視点で評価を検証する。(学期1回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①道徳ノートや教師の評価メモをもとに、学習状況や道徳性に係る成長の様子を共有し、評価を記録する。(学年部)</li> <li>②校内研で評価の仕方を共有し(6月)、通知表作成後、文面について共有、改善を図る(8月)。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>①道徳ノートや教師の評価メモをもとに、学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握、確認し、評価を記録する。(学年部)</li> <li>②改善を生かし、通知表を作成する。(12月・2月)</li> <li>③指導要録の評価の文面を確認する。(2月)</li> </ul>													
家庭・地域と連携した道徳教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆全学年公開による道徳参観日を実施する。(年2回)</li> <li>◆道徳の授業に保護者が関わる活動を仕組む。(学期1回以上)</li> <li>◆道徳通信(月1回程度)、学級通信で道徳教育や道徳授業に関する情報発信を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①保護者参加型の道徳参観日を実施する。(5月)</li> <li>②「自主、自律、自由と責任」の内容項目に取り組む期間に、生徒や道徳通信等を通じて、家庭で話し合える話題を提供する。(学年部、推進教師)取組後保護者アンケートを実施し、結果を検証する。(6月)</li> <li>③通信に、道徳の授業や「高知の道徳」の内容を紹介し、道徳教育に関する啓発を行う。(推進教師、学年部)</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>①道徳参観日を実施する。(11月・研究発表会と兼ねる)</li> <li>②「相互理解、寛容」の内容項目に取り組む期間に、生徒や道徳通信等を通じて、家庭で話し合える話題を提供する。(学年部、推進教師)取組後保護者アンケートを実施し、結果を検証する。(10月)</li> <li>③通信に、道徳の授業や「高知の道徳」の内容を紹介し、道徳教育に関する啓発を行う。(推進教師、学年部)</li> </ul>													